

### 1. 本授業科目の基本情報

講義名 (コード)	TCR214C	TCR_コミュニケーション I_C		
科目名 (コード)	TCR214	TCR_コミュニケーション I_C		
対象学科	国際コミュニケーション学科		配当学年	2年生
対象コース	CH2		単位数	2単位30
授業担当者	中村 久子		時間数	
成績評価教員	中村 久子		講義期間	春期
実務者教員			履修区分	選択必修
実務者教員特記欄				講義

### 2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題が理解できるようになる。
全体の内容と概要	N1レベルの文法と聴解を学ぶ。試験形式の演習を行いJLPTのN1に合格する力をつける。また、フォーマルな言い方や書き言葉を学び、状況に応じた日本語を使い分けられるようにする。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	N1レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	4/16自己紹介 授業の進め方 ドリル&ドリルN1聴解 課題理解第1回 TRY!N1文法
2	N1レベルに必要な難解語彙、慣用表現などに慣れる。	4/23ドリル&ドリルN1聴解 課題理解第2回 TRY!N1文法 G.Wの課題配布
3		4/30 演習問題
4	場面に適した語彙や表現を正しく習得する。	5/7ドリル&ドリルN1聴解 課題理解第3回 TRY!N1文法
5	N1レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	5/14ドリル&ドリルN1聴解 課題理解第4回 TRY!N1文法
6	N1レベルに必要な難解語彙、慣用表現などに慣れる。	5/21ドリル&ドリルN1聴解 ポイント理解第1回 TRY!N1文法
7	場面に適した語彙や表現を正しく習得する。	5/28ドリル&ドリルN1聴解 ポイント理解第2回 TRY!N1文法
8	N1レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	6/4ドリル&ドリルN1聴解 ポイント理解第3回 TRY!N1文法
9	N1レベルに必要な難解語彙、慣用表現などに慣れる。	6/11ドリル&ドリルN1聴解 ポイント理解第4回 TRY!N1文法
10		6/18 JLPT模試
11		6/ 25 JLPT模試 7/7JLPT
12	場面に適した語彙や表現を正しく習得する。	7/2ドリル&ドリルN1聴解 概要理解第1回 TRY!N1文法
13	N1レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	7/9ドリル&ドリルN1聴解 概要理解第3回 TRY!N1文法
14	期末試験	7/16 学期試験
15	追試・フィードバック	7/23 Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	ドリル&ドリルN1 聴解、TRY!N1文法
参考文献・資料等	適宜配布 適宜会話練習、文作練習
備考	進度は変更になることがあります。 火曜日4限